



平成 28 年 1 月 26 日

各 位

会社名 一 正 蒲 銓 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 野 崎 正 博  
 (東証第一部 コード番号 2904)  
 問合せ先 常務取締役管理部長 滝 沢 昌 彦  
 (TEL 025 - 270 - 7111)

特別損失の計上、業績予想の修正および役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月期第 2 四半期累計期間において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。これに伴い、平成 27 年 7 月 31 日に公表いたしました平成 28 年 6 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）および通期（連結・個別）の業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日付の取締役会において、役員報酬の減額を決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

(1) (連結) 減損損失

中国の連結子会社である一正農業科技（常州）有限公司（以下、一正農業科技という。）において、舞茸の生産は順調に推移しているものの、中国市場での舞茸の認知度が広がらないため売上面において苦戦しており、営業損失が生じております。

今般、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、一正農業科技が保有する事業用資産について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 2 億 60 百万円を計上することといたしました。

なお、回収可能価額については、不動産鑑定評価額を基準とした正味売却価額により測定しております。

(2) (個別) 関係会社株式評価損・貸倒引当金繰入額

一正農業科技に対する投融資について、「金融商品に関する会計基準」に基づき、営業損失の発生により株式の実質価額が低下していることに伴い関係会社株式評価損 10 億 54 百万円を計上するとともに、貸付金の回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額 6 億 15 百万円を計上することといたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損および貸倒引当金繰入額については、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 平成 28 年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 600	円 銭 32.39
今回修正予想 (B)	19,800	800	700	250	13.50
増減額 (B - A)	△200	△400	△500	△350	—
増減率 (%)	△1.0	△33.3	△41.7	△58.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 6 月期第 2 四半期)	19,386	758	849	593	64.04

## (2) 個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,500	百万円 1,400	百万円 900	円 銭 48.58
今回修正予想(B)	19,400	900	△900	△48.60
増減額(B-A)	△100	△500	△1,800	—
増減率(%)	△0.5	△35.7	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年6月期第2四半期)	18,929	1,072	809	87.44

## 3. 平成28年6月期通期業績予想数値の修正(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

## (1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,000	百万円 800	百万円 800	百万円 200	円 銭 10.80
今回修正予想(B)	35,300	600	500	50	2.70
増減額(B-A)	△700	△200	△300	△150	—
増減率(%)	△1.9	△25.0	△37.5	△75.0	—
(ご参考)前期実績 (平成27年6月期)	34,426	382	461	125	6.78

## (2) 個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,200	百万円 1,300	百万円 800	円 銭 43.18
今回修正予想(B)	34,500	900	△1,000	△54.04
増減額(B-A)	△700	△400	△1,800	—
増減率(%)	△2.0	△30.8	—	—
(ご参考)前年実績 (平成27年6月期)	33,716	1,178	847	45.74

## 4. 業績予想修正の理由

## (1) 連結

## ①第2四半期業績予想

売上高については、水産練製品・惣菜事業において「おせち」は前年同期比以上の販売実績となったものの、記録的な暖冬により揚物や調理済みおでん等の季節商品が予算に達しなかったこと、また、きのこ事業においても気温の影響等による販売単価の記録的な下落が生じたことにより、当初予想に対して減収の見込みであります。

営業利益・経常利益については、売上高が予算に達しなかったこと、低粗利商品の販売構成比が上昇したこと、すり身が高値で推移したことなどにより、当初予想に対して減益の見込みであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、「1. 特別損失の計上およびその内容(1)(連結)減

損損失」の記載内容によるものであります。

## ②通期業績予想

売上高については、水産練製品・惣菜事業において第2四半期と同水準で通期も進捗するものと見込むこと、きのこ事業において国内は販売価格の低迷が継続する予想のもと、当初予想に対して減収の見込みであります。なお、前年通期比では2.5%の増収の見込みであります。

営業利益・経常利益については、すり身価格の高値の影響および低粗利商品の販売構成比が高止りする予想のもと、当初予想に対して減益の見込みであります。なお、営業利益は前年通期比では56.7%、経常利益は前年通期比では8.3%の増益の見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、「1. 特別損失の計上およびその内容(1)(連結)減損損失」の記載内容によるものであります。

なお、平成28年6月期の配当については、平成27年7月31日に公表いたしましたとおり、期末配当として1株当たり6円を予想しております。

## (2) 個別

平成28年6月期第2四半期および通期の売上高、経常利益については、主に「4. 業績予想修正の理由(1)連結 ①第2四半期業績予想 ②通期業績予想」に記載のとおりであり、当期純利益については、「1. 特別損失の計上およびその内容(2)(個別)関係会社株式評価損・貸倒引当金繰入額」の記載内容によるものであります。

## 5. 役員報酬の減額について

当社は、このたびの平成28年6月期第2四半期累計期間および通期業績予想の下方修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬を減額いたします。

### (1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役社長 月額報酬の30%を減額

取締役副社長 月額報酬の20%を減額

### (2) 対象期間

平成28年2月～平成28年4月まで(3ヶ月間)

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上